



山田ひとき

平群町議会議員 ◆ 後援会会報

発行/山田ひとき後援会
広報部
平成28年1月30日発行
〒636-0916
奈良県生駒郡平群町若井407-2
TEL0745-45-4845 FAX0745-45-4727
メールアドレス hitoki@m4.kcn.ne.jp



山田ひときの略歴
文化団体“やまと四季探訪”主宰

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得
- 総務建設委員会 委員長
- 議会運営委員会 委員
- 議会改革特別委員会 委員
- 駅周辺整備事業特別委員会 委員
- 議会だより編集委員会 委員
- 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
奈良県後援会平群支部長

反対意見をしっかりと語る事も議員の本来の姿

新年あけましておめでとうございます。昨年の平群町議会は、議員報酬削減や固定資産税超過税率引き下げが大きな争点の議会になってしまいました。

町づくりから見た時、決して前向きな論争ではなく、若者の流出防止施策の為に「魅力ある町づくり」の議論を進めなければならぬと考えています。

昨年10月発行の「まんべん通信」では、町長の『圧力に屈しよ!』『逆らう者は許さない!』とでも言いたいのか、私も激しい誹謗中傷を受けました。

議員報酬の削減について私は、これまで2期8年間、20%の報酬減額には賛成をしてきました。自らの報酬は削減したくないと言っているわけではありません。

超過税率継続の目的は文化センター建設

現在平群町は、平成19年当時の赤字財政から3億5千万円の黒字財政となっております。

固定資産税の超過税率については、『一旦とりやめるべきである』と主張しましたが、岩崎町長の考えは、議員報酬削減を押し進め、そのことを足かせとして職員給与カットの交渉・成立を目論み一方、固定資産税の超過税率は継続し、財政調整基金(貯金)の積み立て等により、町長公約の文化センター建設構想を実現する目的が一番であるようにしか見えません。文化センター建設の為に、数十年の将来に渡って固定資産税の超過税率を継続することが多くの住民の意思を反映する事なのでしょいか?

職員の士気を高める事、能力をより引き出す事がこれからの町の課題でもあると思います。

議員は町長の意志に反することなく、素直に従うべきものなのではないでしょうか? 町長の暴走にブレーキをかけ、反対意見もしっかりと語る事も議員の本来の姿であり、町長に逆らう者は議員失格のよう

な議論にはうんざりです。人間自分の為だと頭も下げづらく、攻撃的になりがちですが、人の為や真に住民・町民の為にと思えば、歩み寄り、話し合いも出来、攻撃的にならないものだと思のですが…。

元山山口田バス転回場の跡地売却住民訴訟についても、私に対して『うそぶいていた』とか『責任を果たす覚悟もないまま』と批判されていますが、原告住民の方々は、たとえ勝訴しても返ってこない私費400万円も投げ出し、最高裁まで上告されたという事も謙虚に受け止め

町長は平成19年「緊急3カ年の措置」として自ら提案されたのです。減額率の変更や退職金を自ら元に戻すことも可能です。何故『前町長派議員に押し付けられた』という論調になるのでしょうか? 町長は平群町「緊急3カ年の措置」として自ら提案されたのです。減額率の変更や退職金を自ら元に戻すことも可能です。何故『前町長派議員に押し付けられた』という論調になるのでしょうか? 町長は平群町「緊急3カ年の措置」として自ら提案されたのです。減額率の変更や退職金を自ら元に戻すことも可能です。何故『前町長派議員に押し付けられた』という論調になるのでしょうか?

逆らう者は議員失格?

議員は町長の意志に反することなく、素直に従うべきものなのではないでしょうか? 町長の暴走にブレーキをかけ、反対意見もしっかりと語る事も議員の本来の姿であり、町長に逆らう者は議員失格のよう

固定資産税超過税率引き下げ議案での賛成討論

平成19年当時を振り返って頂きたい。色々、町長の広報誌でも発言されていましたが、平成19年12月議会で町長は『逼迫した財政状況の中で緊急的に住民に申し訳ないが・・・』という、緊急的にという事で説明をされました。

賛成議員の討論の中では、『危機的財政状況の中』『財政危機を回避するため』『苦しい、悩ましいながら』との理由を述べての賛成でした。

私は、『固定資産税率の超過税率については最後の手段であり、地方自治体は、住民の暮らしを支えるとともに、地域の将来を守る役割を担っている。財政再建は、自治体本来の役割を果たせる様に建て直しをはかる為のことであり、可能な限り住民の暮らしを支えながら当面の危機的財政状況を何とか克服し、このことを通じて本来の優れた地域性の再生を進めなければならないと思います』と意見を述べるとともに、当時の5900筆の反対署名を重く受け止め反対をしました。採決の結果、7対6の僅差で可決された経緯がありました。

住民の方々には、この8年間、すでに7億円もの負担を頂いています。町長は当時かたくなに、財政が厳しい為個人給付的事業は絶対行わない、とおっしゃっていましたが、現在は個人的給付事業も行われ、財政的にも先ほども申しましたとおり、3億5千万円の黒字財政になっている以上、一旦超過税率の負担増を取りやめる時期だと思っています。

町長の広報誌では、文化センター建設が、さも本町の活性化になり、そのうえで財政効果もあるように論じられていますが、文化センターが本当に駅前必要であり、それが財政的にも大きな効果になるとは私は思えません。むしろ、文化センター建設の為に固定資産税の超過税率が必要と論じられていることが本末転倒、多くの住民の理解を得られるのでしょうか。

このままではいつまで続くかわからない、超過税率。当時の5900筆の署名も重く受け止めて頂き、本来なら町長から固定資産税超過税率の見直しの提案を頂きたかったと思っています。

る事なく、勝訴したことだけをお喜びになられているようです。もともと町民の財産です。町長としての資質を疑いたくありません。

また、確かに町長は、給与も退職金も40%削減となっています。しかし、退職金は削減後も4年間で約1000万円。その事は述べられずに、町長だけでなく、何故議員や職員もカットするのが当然と

言う論調になるのでしょうか? 町長は平成19年「緊急3カ年の措置」として自ら提案されたのです。減額率の変更や退職金を自ら元に戻すことも可能です。何故『前町長派議員に押し付けられた』という論調になるのでしょうか?

平成27年9月議会

一般質問 (要旨)

あき地・空き家に繁茂した雑草等の除去について

少子高齢化が進む中、平群町においても、人口減少、若者の流出増とともに空き家が増え、その対策として『空き家バンク』等も設立され、様々な取組もおこなわれております。

全国的に空き家等の防災、防犯、衛生、景観等の問題が多くなりつつある中、『平群町空き家等の適正管理に関する条例』が9月議会に上程されています。

現実的に、隣接あき地や空き家の雑草等による衛生面からの健康被害にお困りの方も多いようです。

町では『平群町あき地に繁茂した雑草等の除去に関する条例』が昭和47年に制定され、これまで空き家の敷地に繁茂した雑草等の除去についても運用の中である程度の対応もしてきて頂いたと思いますが、今回『空き家等の条例』が制定されることにより、あき地、空き家それぞれの対応部署が

異なり、これまでとは違った対応になるのではないかと懸念されます。

- ①あき地の定義は？
- ②あき地、空き家の対応業務窓口は？
- ③代執行の流れは？

コミバス無料運行で歳出減を図り通園・通学バスに

この提案は、27年3月議会でも質問していますが、その後の状況も含め改めてお伺いします。

3月議会では私は、上牧町方式のシルバー人材センターへの委託及び白ナンバー自家用バスによる無料運行により27年度のコミバス運行委託料3000万円が、1200万円となり、燃料代も含み約1800万円もの財政負担が少なくなる方式の紹介、提案をしました。



運行時間についても1台あたり休暇も含み3人体制で対応され、朝8時10分から17時30分頃までお昼の運休もなしに運行されています。

現在の利用者には少しご不便をおかけしますが朝・夕と幼稚園児の帰宅時間には通園・通学バスとしての利用も実現可能であると提案しました。

答弁

- ④町への雑草除去業務委託制度及び金額は？
- ⑤これまでパトロール等はどのようにされているのか？

①あき地とは、住宅建築を目的とされ使用されていない土地。

②あき地に関しては住民生活課。空き家等の場合は都市建設課ということで、窓口が

分かれる形になる。

③代執行の流れは、あき地が危険な状態にあると認めるときは、管理者に期限を定めて除草、その他危険な状態を除去するための必要な措置を命じ、措置命令を受けた管理者が所定の期限までに履行しない場合は、必要に応じて行政代執行に基づき執行する形になる。

- ④町への業務委託について

經由し道の駅をハブ駅として北部住宅地にも乗り入れる考えはどうか？

③白ナンバー自家用バスに

することによりコミバスを通学・通園バスとして直通運行することも可能になる。通学バスは、西山間1台、樫原・越木塚で1台使用後、通園バスに。通園バスは、若葉台・椿台、旧168号線の1台と菊美台・緑ヶ丘・上庄、大井手路線の1台で走行後、ただちにコミバスとしての走行も可能だと考えるかがか？

④約1800万円もの財政負担を少なくする為、コミバスを白ナンバー自家用無料バスにして、経費の節減を図る考えはないのか？

答弁

①コミバス委託契約の廃止に伴う具体的な協議は現在行っていない。

②現在、道の駅での乗車や下車は比較的少なく、コミバスの中では利用の少ないバス停となっており、ハブ駅とし

は、雑草等の除去についての通知の中で、町に委託される場合の選択肢をお示しし、回答はがきにおいて委託申請を返送していただくということになっている。また、委託料については、撤去処分を含み、現在、平米当たり108円となっている。

⑤あき地の台帳を作成し、年2回、春と秋に点検を実施している。苦情相談等があっ

ての活用は難しいと考える。北部住宅地域の無料バスの乗り入れについては、民間バスと競合するため難しい

③現在いろいろな角度からコミバス運行について御提案等もいただいている。議員の提案は貴重な意見として承っておきたい。

④議員の提案についても取り入れることができるようであれば、考えを取り入れていきたい。27年度中にコミバス運行の事業検証を行い、公共交通会議に諮ってまいりたいと考えているので、理解いただきたい。

山田ひときの指摘

逼迫する財政、厳しい財政とおっしゃるので、1800万円の財政軽減を図る為、無料バスの提案をしているので、無料にすれば、北部住宅地域の方々の利便性を良くする事も必要になります。『道の駅での利用者が少ない、北部地域との競合になる

た場合は現地に出向き確認し対応している状況。

山田ひときの指摘

あき地と空き家で対応窓口が異なるが、住民相談については、たらいまわしにならないよう、同様の対応が出来るよう相互に連携をとり対応願いたい。

ので難しい』と出来ない理由ばかりの答弁。単にハブ駅としては平群駅がいいのかもしれないが、私が何故、道の駅をハブ駅にという提案をしているかを考えておられない。

北部住宅地域の路線バスは、通勤者等の利用目的も重要であり、駅へのルートについては、競合しないために、コミバス北部ルートは、東山、元山、山口、平群の駅を經由せず、道の駅をハブ駅とし、南部ルートにスムーズに乗り換えできるようにすれば、南部の公共施設や病院、買い物に行くのも便利になります。

また、その事で道の駅でも買い物もしていただけるようになるのではと提案をしているが何故御理解頂けないのか…。

その他の質問

12月議会：町道川原路線の道路拡幅について／文化センター構想に伴う平群町の人権交流センター及び人権施策と人権教育の考え方について



山田仁樹 議員